

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style

[ ビズスタ ]

2020 09

特別版

『BizLifeStyle』は東京、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島にて49万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2020 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

AUDEMARS PIGUET



AUDEMARS PIGUET



「世界3大腕時計」と呼ばれる理由。



オーデマ ピゲ ブティック、ついに名古屋・栄に上陸。

My Favorite Life Style

### 2人の時計師の子孫たちが守り続ける気品、技術、職人の魂。

さて、ここからは、オーデマピゲの「コロンブス」へと軸足を移していきま。まずは、腕時計に革新の風を届け続けるメソンの基礎知識を、駆け足で眺めよう。

若き2人の時計師の出会いは、始まったオーデマピゲは、今年で145年目を数える長い歴史を誇る。オーデマとピゲ家の創業者一族が現在も経営に携わり、文字通り世代を超えて複雑時計の歴史を塗り替え続けてきた。最初の偉業と目される世界初の「グランドコンプリケーション」(複雑機中時計)の開発は、1802年のこと。後にあのパリ万博にも出品されて世界を驚かせたが、正式にウォッチメソンの「走り出した時点」はこの技術力を備えていた事実は、いま振り返っても刮目に値するだろう。

革新的な製法への追求はその後、も勢いが衰えず、1891年には世界最小のリピータームーブメント(現在時刻を首で知らせる機構)を完成。その翌年には、世界初のミニッツリピーター(分単位のリピーター)付き腕時計を発表している。戦後もなにより、1946年には世界最薄の手巻き腕時計を、1978年には世界初となる自動巻きパーペチュアルカレンダー(永久カレンダー)腕時計を、1986年には世界最薄&自動巻きのツールビヨン(重力の負荷を分散する機構)腕時計を世界に送り出している。

書き出せば枚挙にいとまがないが、時計の進化史の重要地点、特に複雑機構の小型化や薄型化の転換期にたびたび名を刻むオーデマピゲ。その華麗なルックスに目が釘付けになるが、実は技術で世界をリードしてきた職人肌の独立メソンのだ。



### CODE 11.59 by AUDEMARS PIGUET



### [RE]MASTER01



### 中区栄3丁目、大津通沿いに誕生した オーデマ ピゲ ブティック。

世界の大腕時計ブランドの一角として世界的に名高いスイスの名品「オーデマピゲ」。群雄割拠の高級機械式腕時計の市場でもひとときを輝かせるを放つこの名門ブランドは、近年、日本でもさらに存在感を増している。

これまで東京銀座と大阪にブティックを構えていたがこの5月、中区栄3丁目「無事ランド」オープンを果たした。「オーデマピゲブティック」名古屋は、中2階を占める4つの空間で構成された1棟使用の路面店で、日本国内のオーデマピゲブティックとしては最大規模の売り場面積を誇る。開店までドキドキした分、期待を高めるこのクオリティには、ウォッチファンたちも快哉の声を上げるというものだ。

メソンの故郷への想いが伝わる温かみたっぷりの空間づくり

オーデマピゲは、1875年、スイスのジュネーブに位置するル・ラッシュの街で産声を上げた。当初は小さな時計工房で、農場にある建物の屋根裏部屋がアトリエだったという。自社ブランドを立ち上げ、十年も経たないうちにロンドンやパリ、ベルリンやニューヨークなどに進出していたそのなかで、いかに人気を博していたのかが分かる。

そこから1世紀以上を隔てて名古屋に誕生したブティックビルは、まさに待望の出店だ。場所は栄の中心部を南北に走る大津通沿い、世界時ブランドの旗艦店がひびく立地。期待に胸を膨らませて足を踏み入れると、日本庭園をイメージしたという美しいエントランスに

いきなり目を奪われる。エスプレッソやシャンパンなども楽しめる2階のバーラウンジとともに、世界でも唯一となる独自演出が。

インテリアは、まさにブランドの故郷であるジュネーブを想う世界観が展開されている。ふんだんに置かれている木材や石材はジュネーブから車で1時間ほどの距離にある自然への憧れと敬意。圧巻は、何と4フロアをシャープリアだ。木の葉のモチーフが効果的に使われ、全体に流れる温かく詩的なイメージを演出している。

レディーモデルも充実  
ぜひご夫婦や恋人同士で訪問を

店内では、銀座大阪の両ブティックと同様に「ニコロアチエリ」の「ニコロアチエリ」ソニーが展開されている。前者はブティック限定モデルから定番のベストセラー、ラジスソンの新作まで、ファン羨望のコレクションがスラー。後者は、中2階に解放感あるラウンジ空間が用意されており、社会貢献事業やブランドファンサタデーをメソンのアウトラインを最新のデジタルで学べる。上質を極めたインテリアの中で時計の美を堪能できる特別な空間だ。

特筆したいのは、レディースモデルも充実している点だ。顧客向けに予約制のパーキングサービスも実施しているのだ。車で出かけるのが嬉しい。モデル選びが終わったら、パートナーをエスコートして来で夕食に繰り出たのもよいだろう。

My Favorite Life Style



ロイヤル オーク クロノグラフ  
38mm 18KPG  
5,500,000円(税別)



ロイヤル オーク オートマティック  
37mm  
ステンレススチール×18KPG  
2,500,000円(税別)



ロイヤル オーク オートマティック  
34mm  
ステンレススチール×プリリアントカットダイヤモンド  
2,400,000円(税別)

■ ROYAL OAK

「ラグジュアリー」を再定義した希代の名コレクション。

1972年から現在まで続く、不滅のフラッグシップ。ステンレススチール製ケースにビス留めした大振りな八角形ベゼルの一体型プレスレットウォッチは、小径のゴールド製ドレスウォッチが持て囃された当時の流行を考えると何とも冒険的な試みだったが、読みは見事の中。ラグジュアリースポーツウォッチという新たな概念と熱狂的に迎えられ、これ1本で当代のデザインコードを覆した。単体では武骨にすら感じるパーツ群を組み上げて洗練の美へと昇華させてしまうマジックは、まさにオーデマピゲの真骨頂。さらにサイズアップしたタフ&パワフルな『ロイヤル オーク オフショア』、ケースとムーブメントの完全な一体化を追究した『ロイヤル オーク コンセプト』など、多様な派生コレクションを生んだ希代の傑作だ。

■ MILLENNARY

圧倒的な独創性が輝く、異次元的な美の世界。

印象的なオーバルシェイプのケースに、盤面中央から絶妙な位置に配置されたオフセンターのダイヤル。エンジニアリングとアートの薫りを同時に発散する1995年の『ミレネリー』も、世界中の時計愛好家たちが見惚れる名コレクションだ。舞台上の俳優が仮面を外す瞬間のようにも見える芸術的な表現、メカニズムの奥まで覗き込めそうな立体的な構造。自社設計・製造のキャリバー「5201」をダイヤル側からも見せるという奇抜な発想を、伝統的で未来的、現実的で異次元的な演出でまとめ上げた美の小宇宙だ。



ミレネリー  
39.5mm x 35.4mm  
18KPG × プリリアントカットダイヤモンド  
3,000,000円(税別)



ミレネリー  
39.5mm x 35.4mm  
18KPG × プリリアントカットダイヤモンド  
4,900,000円(税別)

老舗の名門にいまも溢れる、新たなニュースとサプライズ。

145年にも達する「オーデマピゲ」の歴史でも、2019年は特筆すべき年となった。スイスの時計見本市SIHHの会場で、実に26年ぶりという新コレクションが発表されたのだ。真正正銘のコレクション「CODE 11.59 バイオデマピゲ」は、発表1年を経て今年新たに新色を追加。そのスピード感からも、並々ならぬ意欲が感じられる。

モデル名の数字は、23時59分を意味する。その通り、思想も意匠も、さらには機構まで「新たな日」を迎えた、いわば白紙スタートのコレクション。「見るとオーセンティックな円形ケースだが、実は八角形のミドルケースが挟み込まれているという非常に凝った立体構造が採用されており、真横や斜めからの眺めが実にマニアック。美しいグラデーションを描くダイヤルカラーも含め、所有者だけが味わえる歓びに満ちたコレクションへと仕上がっている。

さらに、スイス、ルヴァンジュの本社に隣接したミュージアムのオープンを記念して製作された「リマスター01」の限定発売が実現。前述のCODE 11.59で初搭載された完全新設計クロノグラフの派生キャリバーを搭載したモデルで、1943年のオリジナルを2020年最新の技術でリマスタリングするという試みがコンセプトになっている。

ブルーとピンクゴールドに彩られる華麗な文字盤は、言葉を失う美しさ。盤面の視認性も磨き上げられ、単なる復刻版では終わらないという意思が溢れる。創業150年が迫るいまも冒険心を忘れない姿勢も、オーデマピゲの魅力だ。



Biz Life Style Pick up >>>

オーデマピゲオフィシャルサイトにブランド発となる日本特別コンテンツが開設。

新作誕生秘話や時計に合ったスタイリングなどお楽しみ頂けます。

